

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年8月9日に不適合管理会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、不適合管理会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件
2. GⅡグレード 0件
3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	タービン補機冷却水系熱交換器(A)海水側入口配管の詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	
2	3号機	タービン建屋1階にある照明用分電盤の点検時、回路の絶縁抵抗値が低下していることを確認した。当該回路を修理。	
3	5号機	タービン補機冷却水系冷却水供給温度調節弁前弁の弁ハンドルが脱落したことを確認した。当該弁を点検・修理。	
4	5号機	タービン補機冷却水系冷却水供給温度調節弁後弁の弁ハンドル固定用ロックピンが外れていることを確認した。当該事象の原因を調査し、点検・修理。	
5	6号機	原子炉建屋地下3階(管理区域)通路上部の鋼材上に古いタバコの吸いがらを発見した。当該タバコを回収。	
6	その他	正門付近(屋外)において重機(バックホウ)移動時、ケーブルを収納する管路の蓋を破損させたことを確認した。当該蓋を点検・修理。なお、ケーブルに損傷なし。	